

EndNote™

文献に関わる
煩雑作業を効率化

21

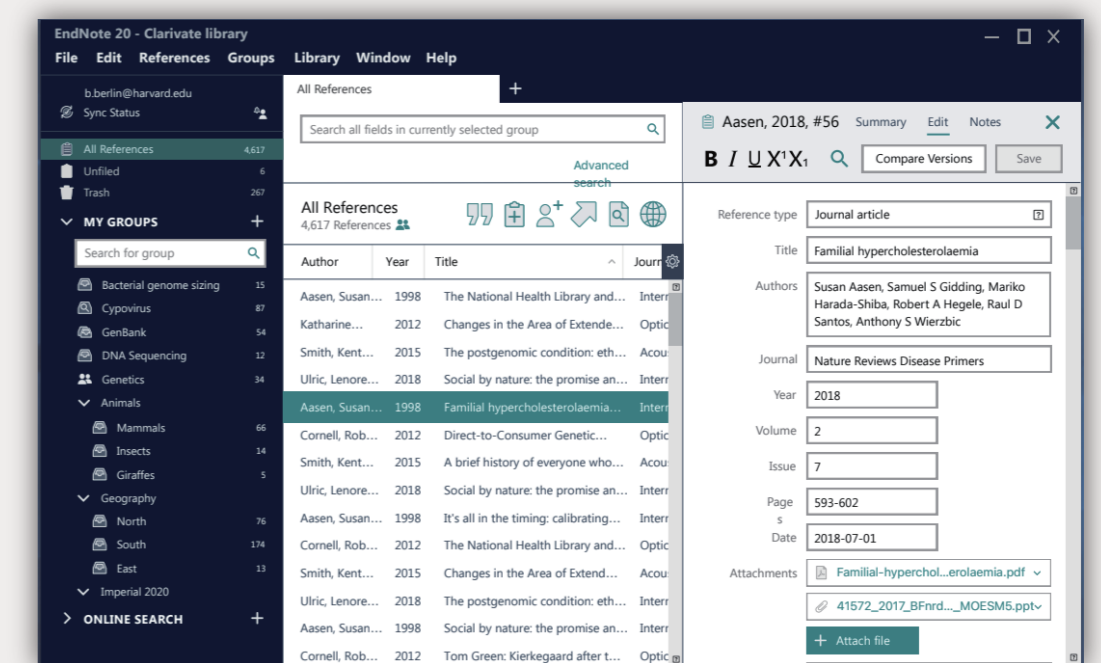
面倒な文献管理と参考文献リスト作成は
EndNoteにおまかせ!

文献の収集・管理・引用をもっと速く、もっとカンタンに

NEW

01 ライブラリの紛失や破損時の救世主 復元機能

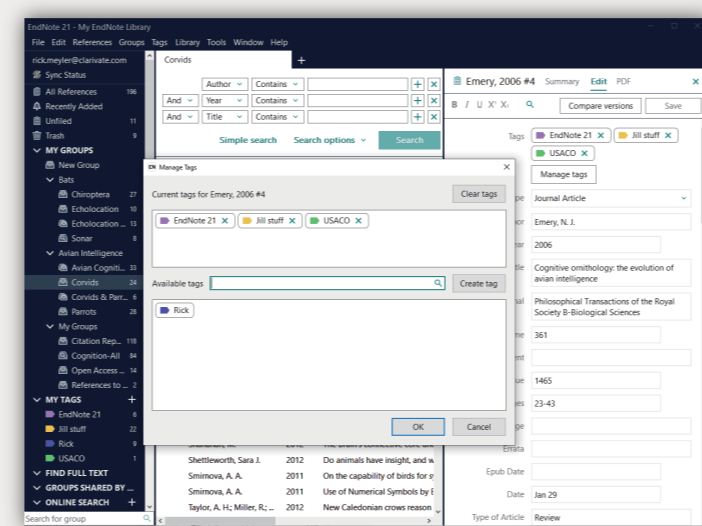
ライブラリが失われたり破損した場合でも、復元が可能になります。併せて、以前の時点にレファレンスを復元することができる**単一の参照レコードを復元する機能**も備えています。ライブラリ全体やライブラリ構造を復元するだけでなく、**どの時点のバージョンに戻りたいか選択**もできるようになります。



NEW

02 常に整理された状態を保つことができる タグ機能

タグを使用し、自身のライブラリやグループ内のレファレンスをより**分かりやすく整理**することができるようになります。



NEW

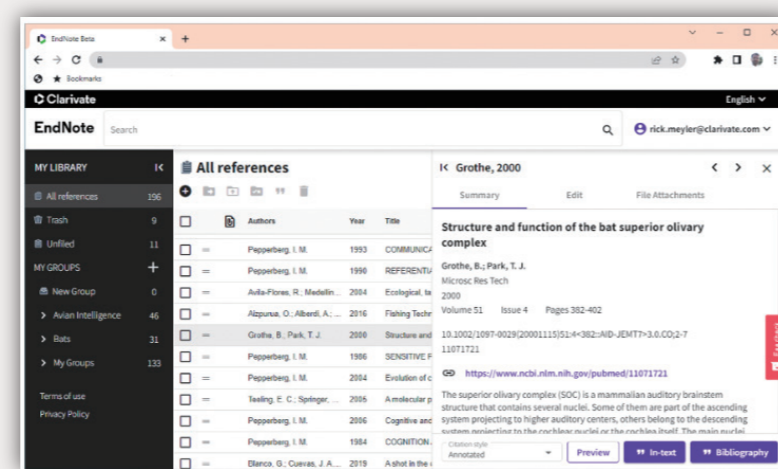
03 ライブラリ 共有人数の増加

ライブラリ共有可能なユーザー数が、

NEW

04 新EndNote Web

デスクトップから離れていても、**新オンラインインターフェイスにアクセス可能**になり、EndNoteデスクトップ版と**整合性**が、より高まります。

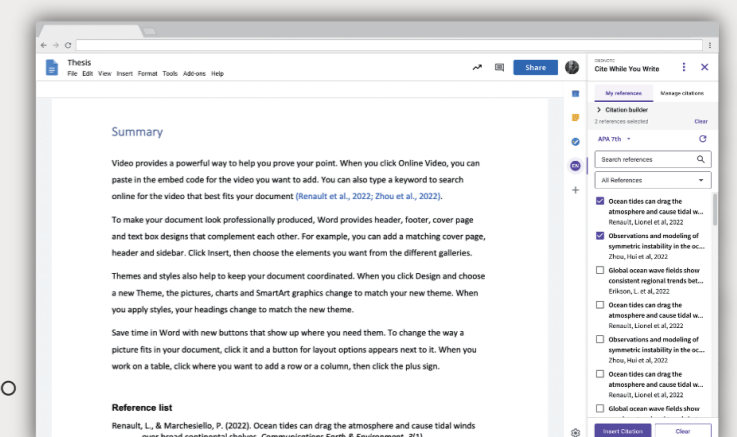


※利用はEndNote 21ユーザーに限られ、購入日から3年間アクセス可能。

NEW

05 CWYWの拡張

Cite While You Write が Google Docs と Word Online の統合された文書作成ツールへ**拡張**されます。
※今後のアップデートで実装予定。



従来のEndNoteの全機能と柔軟性は、もちろんそのまま。

文献の収集・管理



PDFファイルの取り込み

学術文献データベースやフルテキストPDFから、文献情報を簡単に取り込み。

強力な検索機能

取り込んだPDFの本文も検索対象なので、キーワードを入力するだけで目的の文献が簡単に見つかる。

同期・共有



どこからでも 自分のライブラリにアクセス

オンラインアカウントと同期することで、職場・自宅・外出先・iPad・iPhoneからアクセス

文献共有に最適な**ライブラリ共有**共同研究や研究室での他のEndNoteユーザーと、作成したライブラリを1,000人まで共有可能。

論文作成支援・引用



参考文献リストを自動作成

EndNoteに保存された文献情報をドラッグ&ドロップで参考文献リストを瞬間作成。

投稿規定に沿った**体裁に一発変換**ジャーナル名を選択するだけで投稿規定が変更されるので、投稿先の変更も簡単に可